

會 議 議 事 錄

					記録者	由利 毅	
決 裁	教育長	教育部長	次長	課長	課長補佐	係長	グループ員
件 名	令和6年度 第1回 龍ヶ崎市文化財保護審議会						
日 時	令和6年12月26日(月) 午後1時30分～午後2時20分						
場 所	龍ヶ崎市歴史民俗資料館 多目的室						
主催者	教育委員会 文化・生涯学習課						
出席者	【委 員】 後藤敦志委員、佐藤正好委員、今橋浩一委員、添田仁委員、山本裕子委員、松谷真一委員、中村恵一委員、佐藤美季委員 【事務局】 大古教育長、松崎課長、油原課長補佐、関主事、記録者						
内 容	1 開 会 2 教育長あいさつ 3 委員紹介 4 会長／副会長選出 5 会長あいさつ 6 議 事 ・議案第1号 龍ヶ崎市指定有形文化財の指定について （認定候補物件：若柴宿駅図絵馬） 7 閉 会						
事務局 (由利)	(開会)						
事務局 (教育長)	(挨拶)						
事務局 (由利)	(委員の紹介) (事務局紹介) (会長・副会長の選出) 会長、副会長は委員の皆様の互選となっておりますが、候補者について事務局から推薦させていただいてよろしいでしょうか。						
	(各委員「異議なし」)						
事務局 (由利)	それでは会長には後藤委員を、副会長には今橋委員をと考えますが、いかがでしょうか。						
	(各委員「異議なし」) 会長に後藤委員、副会長に今橋委員を選出した。						

	(出席者8名により会議の成立を宣言)
	(議事録署名人として後藤委員、今橋委員を指名) (各委員「異議なし」)
後藤	議事に入ります。 議案第1号 市指定有形文化財について、候補物件の若柴宿駅図絵馬について事務局から説明願います。
事務局 (由利)	資料に基づき説明
後藤	ご意見・ご質問等がありましたらお願いします。
添田	この絵馬を指定するという事に異論はありません。絵馬の大半が社寺参拝や民間伝承を表したものが多く、当時の人々の暮らしがわかる生業を描いた絵馬は貴重な資料だと思います。安全な環境で保存していただきたいと思います。 但し、年号の表記が「六」に見えます。龍ヶ崎市史民俗編では安永6年となっていて、近世編では5年になっています。大願成就を受けてこの絵馬が作られたと考えた場合、5年では早すぎるのではないかと考えられます。大願成就の翌年に作られたと考えるのが自然なのではないかというところから安永6年として十干十二支の丙申が間違っているのではないかという意見を申し上げさせていただきます。
事務局 (由利)	定助郷に係る大願成就の件と十干十二支の丙申の表記から推定して安永5年としたもので、かすれている文字が間違っているという解釈はしませんでした。
事務局 (油原)	絵馬展の図録や歴史館等の資料では安永6年と、市史では安永5年としている部分もあり、迷うところなので表記は空白の□としています。市史近世編の関連調査で助郷に関する動きが安永3年からあったことから5年という説が出てきたものです。
添田	年号については真偽の程は不明ということだろうと思います。今後、絵馬をさらに調査することがあって、赤外線やエックス線の調査などをすれば、かすれた文字ももう少しは読めるのかもしれません。
事務局 (由利)	年号よりは十干十二支の方が間違える可能性はあるのかなとは思いますが、こうした事例で書き間違えることはあるのでしょうか。
添田	絵馬の事例はわかりませんが、古文書ではあります。絵馬への年号等の書き込みがどの時点で書かれたものなのかが気になるところです。絵馬の端に書くのではなく真ん中に年号を書いたのは何かイベント的に書き込んだもので、それにより間違えたのかという推測もできます。あと、鴻巣茂左衛門と惣百姓の間の読めない文字は「並びに」ではないかと思います。その辺も赤外線とかで見ればわかるのではないのでしょうか。
今橋	江戸時代の道中絵図では、水戸街道の藤代の次が若柴、次が牛久となっていて、若柴がこういう位置にあったのかということがわかります。明治期以降、宿場はなくなりましたが、地域の方々が若柴地域の坂などに掲示板を立てたりしながら、昔ながらの風景の保存に努めています。火災などがあって失われたものもありますが、この絵馬がこうして保存されていて江戸時代の姿が伺われることはすごく貴重な資料だと思います。私も指定することについて異議はありません。
山本	年号については市史の民俗編と近世編で解釈が少し違うようですが、今のところは本日の資料の解釈ということでよろしいでしょうか。
事務局 (由利)	会議資料の解釈が資料館と調整して導き出したものとなっています。絵馬にある願い主の鴻巣さんというお宅についても申請者の芳川さんに確認したところ、現在も若柴地区に所在しているとのことでした。

	先ほど添田先生がおっしゃったような、今後、エックス線調査などをした場合には年号の文字の部分についての解釈も変わるかもしれませんが、現段階の見解としては、今日提示しました資料の内容ということになります。
山本	鴻巣さんという方が当時どのような立場だったのかはわかりませんでしょうか。絵馬にはこの方以外には惣百姓とあるだけですが、絵馬だと複数の名前が書いてある場合が多いので、気になりました。
事務局 (由利)	申請者の芳川さんの話では鴻巣さんのお宅は現存していますが、この絵馬のことを聞いてもわかる人はいないとのことでした。
山本	絵馬に人馬が描かれているのは珍しいと思いますが、それほどまでにして人馬を集めるのが大変だったのかなと思いました。
添田	水戸街道では荷役のために常時25人の人員と25頭の馬を配置することが義務付けられていたそうです。それを分担する定助郷の村数が増えたということなのだと思います。この安永5年の願いは負担を分担する村数が増えたことで若柴の負担が軽くなったと解釈すればいいと思います。今風に言うと、税金が下がるということになりますから、一つの村の単位で負担しなければいけない額が減ったという意味での大願成就なのではないかと思います。そういう意味では、お金のある人がお金を出し合って絵馬を作ったというよりは、この惣百姓という言葉が印象的だと思うのですが、村の構成員全体で出したというのが特徴なのかなと思います。
事務局 (由利)	添田委員の意見のとおりかと思います。村にとっては助郷がかなり重かったと考えています。分担する村数を増やすことで、若柴村の負担が軽くなり、その喜びが大願成就なのかなと考えています。あと、馬は市内で確認されている絵馬にもよく出てくるのですが神馬が多く、このような形で描かれているものは他にはありません。生業を描いた絵馬も珍しく、市内のものでは若柴宿の他には、酒造りの様子が描かれた長戸地区の半田薬師堂の絵馬だけです。
事務局 (油原)	安永3年の定助郷として、当分の間の措置として龍ヶ崎村と根本村、生板村、豊田村が若柴宿の助郷として協力しなさいと割り振られています。それから2年後の安永5年に近隣の16ヶ村が定助郷に加わっています。若柴宿では人馬が不足していたので定助郷の村数を増やしてほしいと若柴宿の鴻巣さんたちが願い出たのかと考えています。それが叶ったのが安永5年で大願成就したので絵馬を奉納したのではないかと考えています。 絵馬ですので馬がかかされているものが多いのですが、この絵馬には武士や農民が描かれています。今後、修復等をした際に、絵馬に描かれている情報が鮮明になってくるのではないかと、いうところから、貴重な資料だと考えています。 定助郷の村数を増やしてほしいということが大願成就したので絵馬が奉納されましたが、その後、常時の助郷の馬が足りないということになり、20年後の文化2年に女化の助郷一揆が起きてしまうということに繋がる、歴史的にも面白い資料ということが選定理由かと思います。
佐藤美	近代まで母の実家は農家でした。昔は「デージンドン」と呼ばれていた名主さんの家には馬がいて荷物を運ぶときには使っていました。近所に荷物を運ぶ時でもそうしていましたし、商売をしている方に馬を貸し出すとか、馬の代わりに牛に荷車を引かせるとかを昭和初期まではしていたという話を、母から聞いています。
添田	市史にも記述されていますが、市内には270程度の絵馬が確認されていて一覧表になっていて、古くは1700年代の中盤、江戸時代中期から平成3年までのものが掲載されています。明治・大正・昭和・平成までコンスタントに、この地域に絵馬が残っているというのは非常に興味深いと思います。佐藤委員からあった馬に対する思い入れや家畜に対する思い入れの強い地域だったということかもしれません。同時に、絵馬を奉納するとなるとある程度の財力も必要ですし、一人で奉納することは多くないわけですから、チームを組んで奉納したことを考えると、そういうコミュニティの強さみたいなものも、この地域の特徴かもしれないと思いながら資料を読ませていただきました。そういう意味でも、今日のこのテーマは地域を特徴づける龍ヶ崎市の指定文化財として、非常に重要なものを選び出されたのではないかと思います。

後藤	他にご意見はありませんか。ないようでしたら委員の皆様からのご意見を踏まえた上で議案第 1 号の若柴宿駅図絵馬につきましては、市指定有形文化財に認定することにご異議ございませんか。
	(各委員「異議なし」)
後藤	ありがとうございます。私も皆様のご意見を伺って、この絵馬の持つ意味や当時の生業が伺える貴重な資料であるということを認識しました。特に添田委員から出ました大願成就からの製作期間や薄くなっているものの数字が六に見えることなどからも、指定されましたら調査をしていただくような形で意見をつけさせていただきたいと思います。 答申につきましては私と事務局と相談の上で取りまとめ、教育委員会に提出したいと思いますが、ご一任いただけますでしょうか。
	(各委員「異議なし」)
後藤	ありがとうございます。それでは以上をもちまして審議は終了といたします。 皆様、本日は議事進行にご協力いただきありがとうございました。
	令和6年12月26日に開催された会議の内容については、上記のとおり相違ありません。 令和 7 年 月 日 議事録署名人 議事録署名人